

# スーパーセラピストへの道（アカデミー編）



- ・高級で素敵な内装
- ・先生と同期の生徒と会う
- ・テキストをもらい沢山の手技と用語に驚く
- ・これが全て出来た時の期待と喜び
- ・揉んだ時の手ごたえに感動
- ・筋肉の感触がわかつて楽しい
- ・体を触つて技術の実践練習
- ・朝起きたら指が痛い
- ・覚えることが沢山ある
- ・思い通りにできない
- ・施術の順番が覚えられない
- ・朝起きたら体中が筋肉痛
- ・先輩セラピストの施術を受けて感動
- ・知識がどんどん増える
- ・言われている事が理解できた
- ・同期の生徒と帰りにご飯を食べながら悩み相談
- ・家に帰って復習してみる
- ・向いていないかもと落ち込む
- ・サロンワークを手伝つて再びセラピストに憧れる
- ・早練、居残りをして技術習得をしてみる
- ・アカデミー以外でも身近な人を揉んでみる
- ・オーナーとお話をする機会があり、やる気が戻る
- ・ひとり技術進行終了
- ・技術チェック合格
- ・体の使い方がだいぶ慣れてきた
- ・自分から進んでやる事を見つけてみる
- ・サロンワークで先輩に言われてからしか動けない
- ・現役セラピストとお部屋のリセットをした
- ・お店の中の動きがだんだんわかってきた
- ・現役セラピストと和やかな対応に感動する
- ・サロンワークのお手伝いでおしゃべり作りをした
- ・ドライ、クリーム施術ひとつ通り習得
- ・サロンワークのお手伝いで初めてお客様と話した